



すこぶる暑い日もありますが、それでも5月の風はとても気持ちよく、散歩に出かけたり、

おもいきりおひさまの匂いを吸い込んだり、ひいやりとした木陰に坐りほっこりとままごとしてたり… たっぷり遊ぶことができました。

最近では季節の具合が少々変わってきて時期がずれることが多いのですが… 6月、雨の季節を迎えます。

雨の日ならではの楽しみはもちろんたくさんありますが、雨の屋外の魅惑と共に、「家にいること」「屋根がありその下にいること」の幸せもまた感じられる季節です。

「家」って何なのだろう？と、あらためて思うことがあります。建物のことなのでしょうが？建物としての家を考えるだけでも面白いかもしれませんね。様々な家があるのでしょうか…。よく見かける家、アフリカの草原とかにありそうな家、古い時代の洞窟を借りた家、屋根の上に木や草が生えている家や不思議な形の家、もし僕が小人だったらリスといっしょに住む木のうろの家…いくつかスケッチしてみました。

どの家にもはいつてみたくなりますが、毎日いても居心地のよさそうな自分にひたりする家というのがある気がします。また、一人で静かに過ごす方丈の庵のような家への憧れはあっても、家には誰かがいて人の空気や熱が漂っているから「家」なのでしょう。屋根があり雨から人を守ってくれる家は、だから「人」そのものなのかもしれません。屋根よりも深く広く誰かの心を守り包み込む「人としての家」なので、それぞれの家から、それぞれ独自の空気や熱が漂ってくるのだと思います。

6月後半に「家庭訪問」が予定されています。

クラス担任が子どもたちをお訪ねし、一番安心できる家でいっしょに遊ばせてもらいます。きっと素敵な時間になることでしょう。

園の生活も次々と新しい展開が待っています。それぞれの家より大きいですが、私たちの幼稚園も「家」のようでありたいと思っています。

ですから、雨から守ってくれる、そこでご飯を安心していただける、遊びを満喫できる……そして皆で居心地がいいように力を出し合える「家」の中で生きる私たち自身が、子どもたちの「家」なる存在になり得るように願い、6月も一歩一歩進んでいきます。

よろこびの6月になりますように！

園長 弁光泰雄